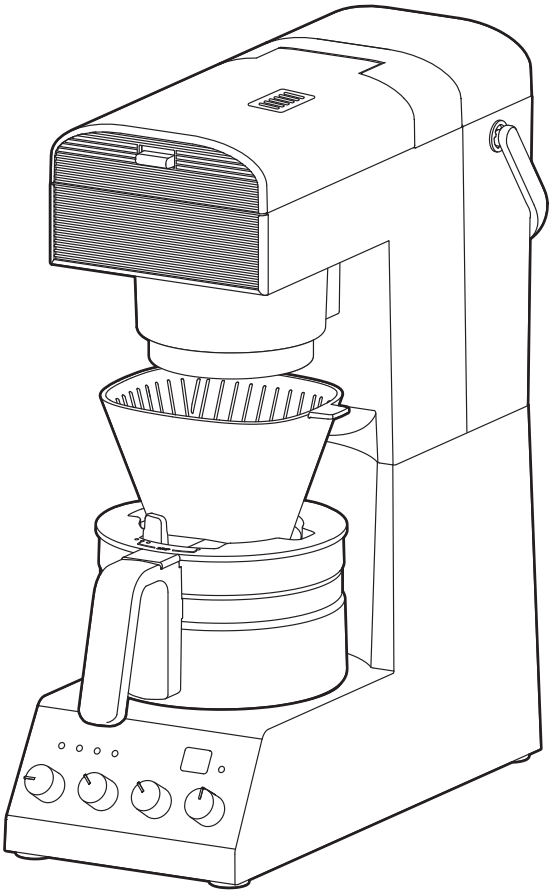
取扱説明書（WEB）

コーン式全自動コーヒーメーカー

型番：CMC-A60［室内・家庭用］



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
  無償保証の対象外になることがあります。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上の注意 P7」を必ずお読みください。**
- WEB マニュアルについては、「WEB マニュアルの使いかた P2」をご確認ください。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
・Microsoft Edge ブラウザ（最新版）
・Google Chrome ブラウザ（最新版）

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



❶ メニュー一覧/検索 切替ボタン（スマートフォンのみ）

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

❷ **製品名、型番**

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

❸ **ページ内リンク**

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

❹ **関連ページリンク**

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

❺ **メニュー**

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

❻ **メニューリスト**

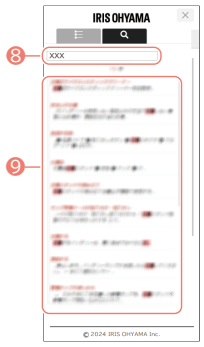
メニュー一覧を表示させます。

❼ **検索タブ**

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に. 7

安全上の注意. 7

使用上の注意. 12

確認と準備. 13

各部の名称. 13

付属品. 15

操作部. 16

準備. 17

使いかた. 22

抽出コース. 22

豆から抽出する. 23

粉から抽出する. 30

豆を挽く(ミルモード). 36

お手入れ. 39

お手入れについて. 39

本体のクリーニング. 43

クエン酸洗浄. 46

こまったときは. 49

故障かな？と思ったら. 49

エラー表示. 53

その他の情報. 55

廃棄について. 55

仕様. 56

保証とアフターサービス. 57

保証規定. 58

お問い合わせ. 59

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この**「安全上の注意」**をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ 警告 P7

→ 注意 P10

図記号の意味

注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	・**電源プラグのほこりは定期的に取る** ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・**電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む** ショートによる火災・感電の原因になります。
プラグを抜く	・**お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 感電・けがの原因になります。
ぬれ手禁止	・**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない** 感電・やけど・けがの原因になります。
	・**電源コードを束ねて通電しない** 過熱して火災・やけどの原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・**交流 100V 以外では使わない** 火災・感電の原因になります。 ・**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない** ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P59（ 電話をかける）へお問い合わせください。 ・**電源コードを傷付けない** ・**持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない** 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないで

ください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- **コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない**
  火災の原因になります。



- **異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く**
  火災・感電・発煙のおそれがあります。

  〔異常の例〕

  - 異常な音やにおいがする
  - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
  - 運転中時々電源が切れる
  - 触れるとピリピリ電気を感じる

  ➨ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P59(電話をかける)へお問い合わせください。



- **屋外で使用しない**
  火災・感電の原因になります。



- **製品のすき間や開口部に、異物を入れない**
  火災・感電・けがの原因になります。
  異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コール P59(電話をかける)にご相談ください。



- **ドリッパーや蒸気口付近・保温板などに手や顔などを近づけない**
  やけどの原因になります。
- **ミルの回転中やドリップ中は、ふたを開けない**
  やけど・けがの原因になります。



- **補助を必要とする方(子どもを含む)および取り扱いに不慣れな方だけで使わせない**
- **子どもが本製品で遊ばないように、子どもを監視するまた、子どもの手が届く場所では使用したり、置いたりしない**
  感電・やけど・けがなどの原因になります。



- **水回り、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
  火災・感電の原因になります。

 分解禁止	・**分解・修理・改造をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P59(電話をかける)にご相談ください。
 接触禁止	・**通電中はミルの刃に触れない** けがの原因になります。 お手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
	・**ガラスサーバーのハンドルがぐらついたり、ガラスサーバーにひび割れがある状態で使用しない** やけど・けがの原因になります。
	・**運転途中で水タンクを外さない** ・**運転途中でミルふたを開けない** けが・やけどの原因になります。
	・**使用中・使用後しばらくは、高温部(保温板・ミルふた・ミル)に手を触れない** やけどの原因になります。 ・**使用中・使用後しばらくは、抽出口下に手を入れない** やけど・けがの原因になります

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

	・**水タンクに水を入れずにドリップしない** ・**水タンクに水以外のものを入れない** 火災・やけどの原因になります。
	・**コーヒーメーカー以外の用途に使用しない** 火災・異常動作の原因になります。 ・**電源の入切をするための部品（外部タイマーなど）やその他の製品、部品、遠隔操作システムなどを組み合わせて使用しない** 火災・感電の原因になります。
	・**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く** 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・**長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・**壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない** ・**畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない** 蒸気や熱により、周囲や家財の変色・汚損の原因になります。 ・**火気の近くで使用しない** 火災・故障の原因になります。 ・**他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない** 電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。 ・**製品や蒸気口にふきんなどをかぶせない** 変形や故障の原因になります。
	・**水平で安定した場所で使用する** 不安定な場所で使用すると、転倒・落下して、火災・けがの原因になります。
	・**ガラスサーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない** ・**ガラスサーバーを冷凍庫に入れない** ・**ガラスサーバーを急に冷やさない** ガラスが割れて、やけど・けがの原因になります。

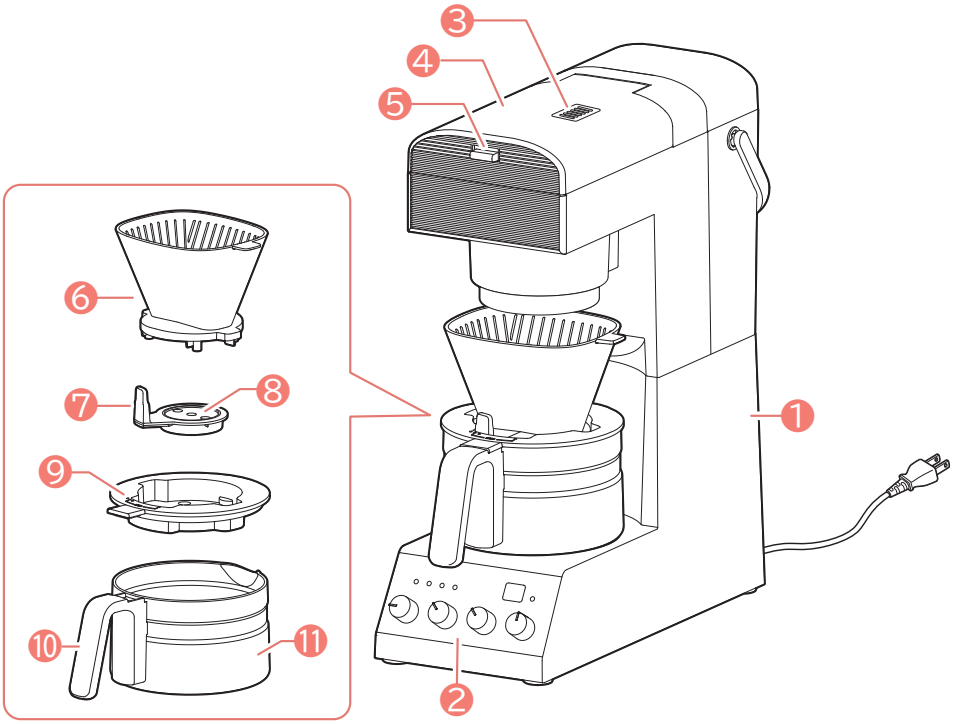
	・**必ず付属のガラスサーバーを使用する** 火災・やけど・けがの原因になります。
	・**ガラスサーバー・ドリッパー・ミルをセットせずに使用しない** ・**運転途中でガラスサーバー、ドリッパーを外さない** ・**付属のガラスサーバーを他の機器で使用しない** ・**ガラスサーバーを電子レンジや直火で使用しない** 火災・やけどの原因になります。 ・**ガラスサーバーをセットしたまま本体を移動させない** 落下して、やけど・けがの原因になります。 ・**ガラスサーバーが空の状態のまま保温しない** 火災や故障の原因になります。 ・**製品をキャビネット内に置いて使用しない**
 **接触禁止**	・**ミルの刃に直接触れない** けがの原因になります。 お手入れは、付属のお手入れブラシを使用してください。
	・**2 回連続使用した場合は、保温を中止して 30 分以上休ませてから使用する** 故障の原因になります。
	・**ミルにコーヒー豆以外のものを入れない** 故障の原因になります。
	・**お手入れは本体が冷めてから行う** やけどの原因になります。

使用上の注意

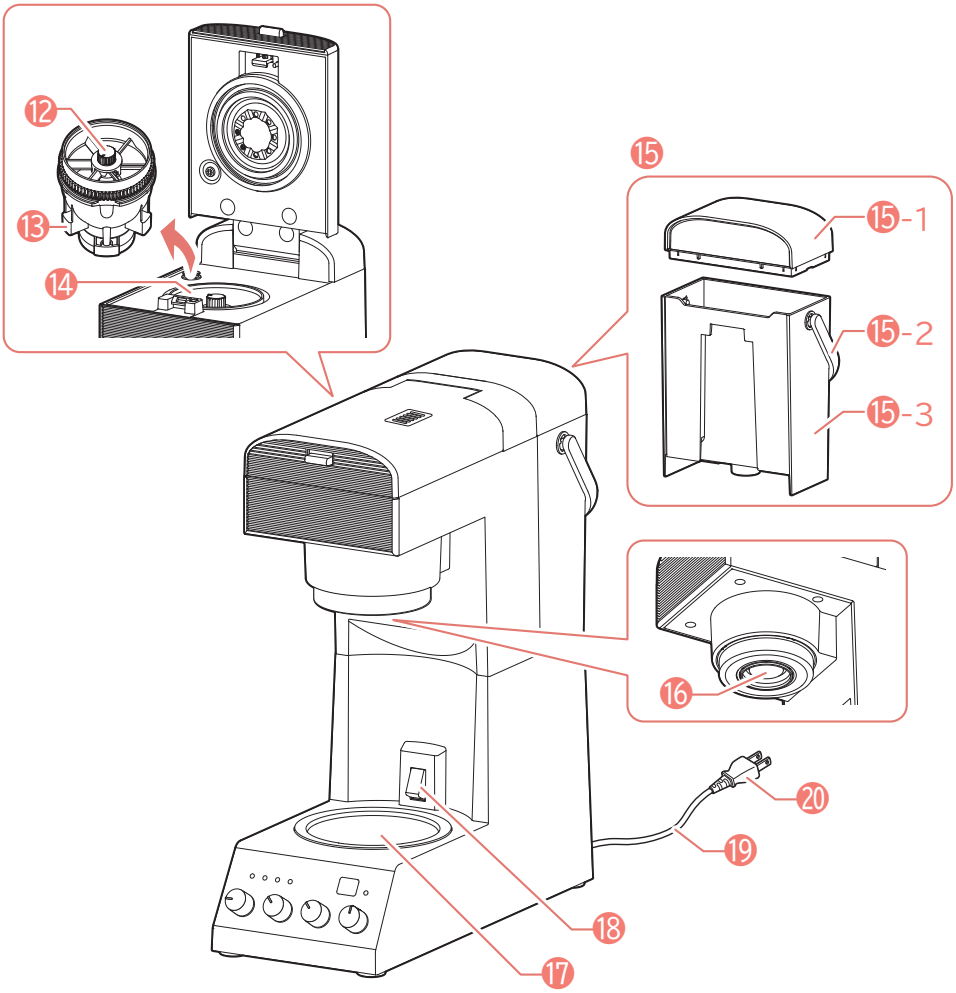
- **水タンクに水を入れたまま放置しないでください。**
- **ミルにコーヒー豆の残りを入れたまま放置しないでください。**
- **ドリッパーにコーヒー粉を入れたまま放置しないでください。**
- **ガラスサーバーにコーヒーの残りを入れたまま放置しないでください。**
  変色・におい・腐敗の原因になります。
- **お手入れは保温板が冷めてから行ってください。**
  やけどの原因になります。

確認と準備

各部の名称



❶ 本体
❷ 操作部(→操作部 P16)
❸ 蒸気口
❹ ミルふた
❺ ミルふた開閉用レバー
❻ ドリッパー
❼ 流量調節レバー
❽ パッキン
❾ ガラスサーバーふた
❿ ハンドル
⓫ ガラスサーバー



⑫ ミルダイヤル

⑬ ミル

⑭ ミル収納部

⑮ 水タンク

⑮-1 水タンクふた

⑮-2 水タンクハンドル

⑮-3 水タンク

⑯ 抽出口

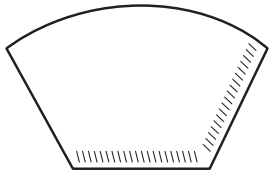
⑰ 保温板

⑱ ガラスサーバー検出スイッチ

⑲ 電源コード

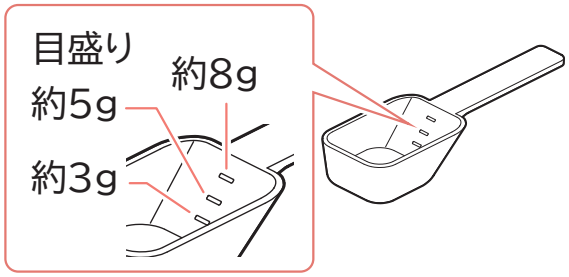
⑳ 電源プラグ

付属品



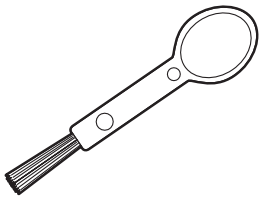
ペーパーフィルター(サイズ「102」)

・市販の「1×2」「102」も使用できます。



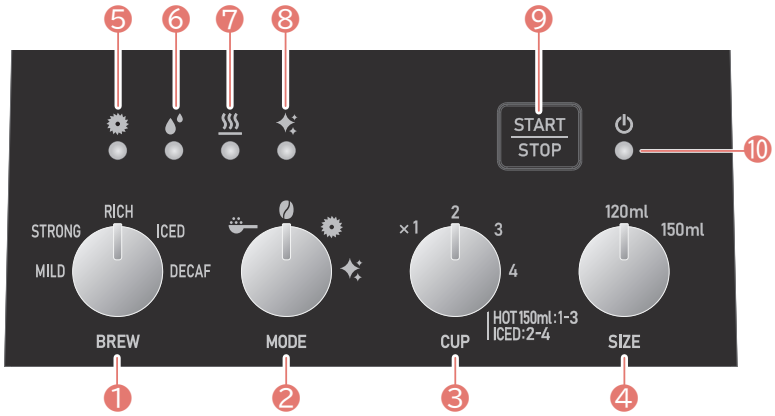
計量スプーン(コーヒー豆・粉用)

・すり切り 1 杯約 10g(入れかたや豆の焙煎度によって異なります。)



お手入れブラシ

操作部

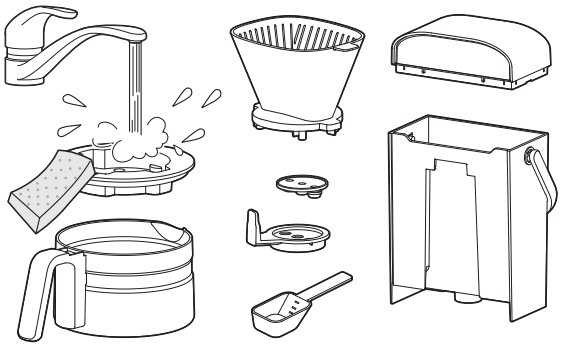


❶ 抽出コース選択ダイヤル
❷ モード選択ダイヤル
❸ 杯数選択ダイヤル
❹ 抽出量選択ダイヤル
❺ ミルランプ
❻ 抽出ランプ
❼ 保温ランプ
❽ クリーニングランプ
❾ スタート/ストップボタン
❿ 電源ランプ

準備

初めて使用するときや長期間使用しなかったときは、必ずお手入れ(部品・付属品の洗浄、本体のクリーニング)をしてください。

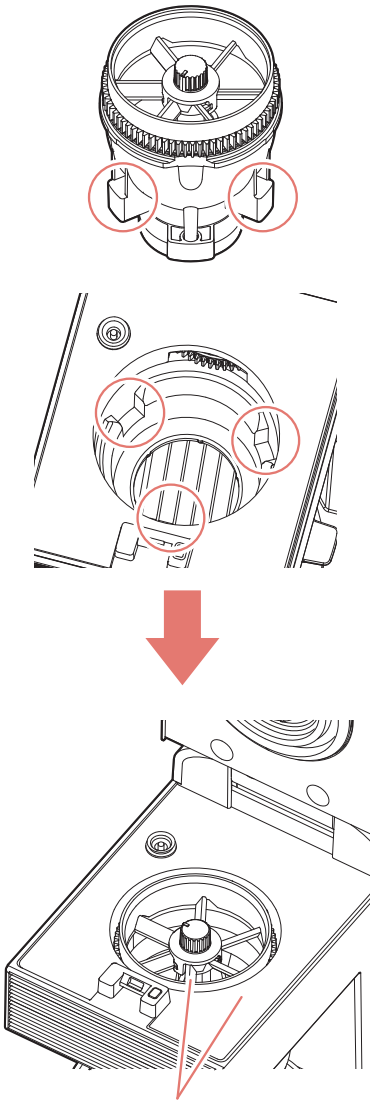
(→お手入れについて P39、本体のクリーニング P43)



※水タンクのパッキンは
取り外さないでください。

■ ミルのセットのしかた

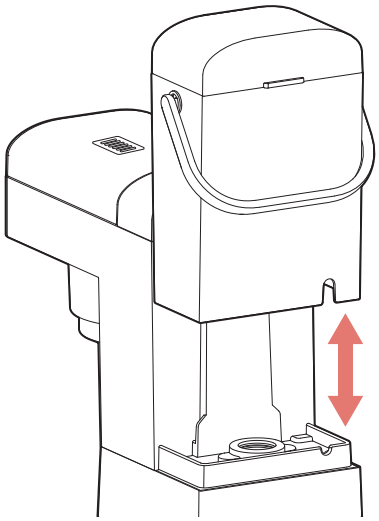
本体の凹部(3 か所)にミルの凸部(3 か所)を合わせて押し込む



本体とミルが
ほぼ同じ高さに
なっているか確認

■ 水タンクの取り付けかた

本体と水タンクの凹凸部を合わせて、奥までしっかりと押し込む



・ 水タンクの取り付け・取り外し時は、水タンクハンドルを持って行わないでください。
故障の原因になります。

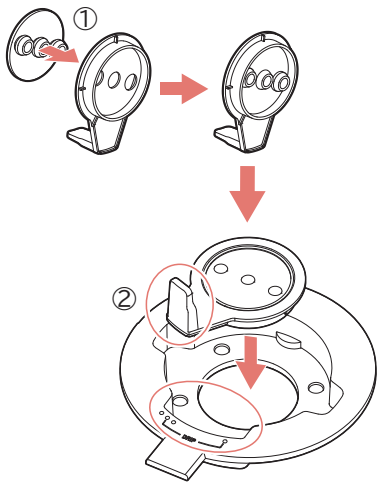
■ ガラスサーバーの準備

1

流量調節レバーをガラスサーバーふたにセットする

①流量調節レバーにパッキンを取り付ける（取り付けられた状態で出荷しています）

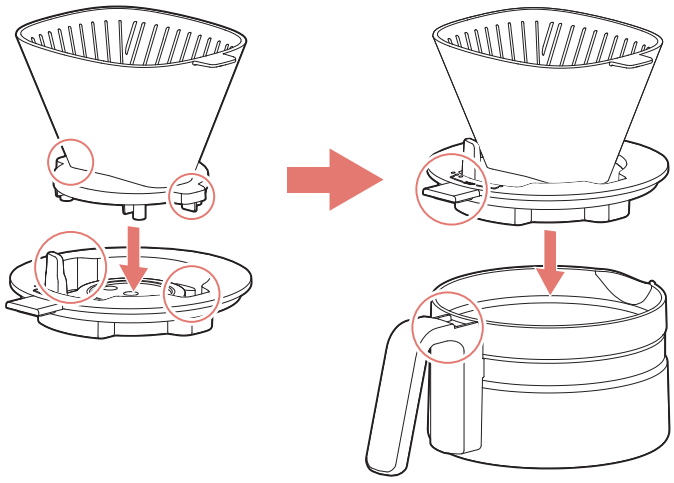
②レバーの突起を、ガラスサーバーふたの凹部に合わせて取り付ける



2

ガラスサーバーふたにドリッパーを取り付けてから、ガラスサーバーにセットする

- それぞれ凹凸部を合わせて取り付ける



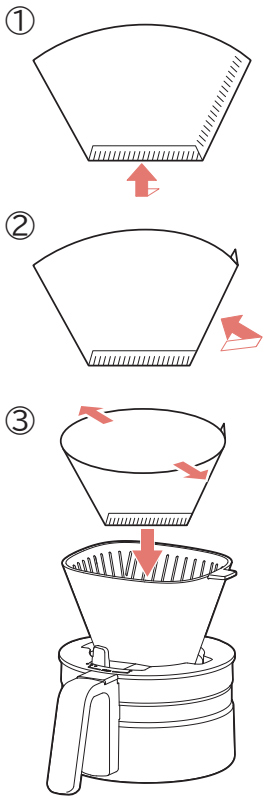
3

ペーパーフィルターをセットする

①下を手前に折る

②横を下と反対側(奥)に折る

③広げてセットする



使用可能なフィルター

- 「1×2」「102」
  それ以外のフィルターを使用した場合、コーヒー粉が溢れたり、正しくコーヒー抽出出来ない恐れがあります。

使いかた

抽出コース

■ おすすめの抽出コース

※「流量調節レバーの設定 P24」を参照してください。

抽出コース（BREW）		おすすめの挽き具合	流量調節レバー
RICH	コクと香りが豊かでバランスの良い味	中	○ ○ ○
MILD	苦みを抑えたやさしい味	中粗、粗	○ ○ ○
STRONG	深い苦みとコク、キレのある味	細、中細	○
ICED	氷を入れても苦みとキレのある味 → 氷はグラスに入れてください。 ガラスサーバーに氷を入れないでください。	細、中細	○
DECAF	カフェインを控えたコクがある味 → カフェインを取り除いたデカフェ豆を使用してください。	細、中細	○

■ コーヒー豆およびコーヒー粉量の目安

RICH、MILD、STRONG、DECAF								
	120ml				150ml			
CUP	1	2	3	4	1	2	3	4
分量	10g	20g	30g	40g	12g	24g	36g	設定不可

ICED				
120ml／150ml				
CUP	1	2	3	4
分量	設定不可	20g	30g	40g

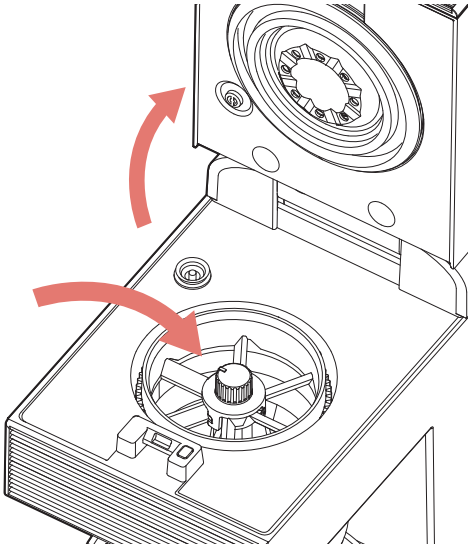
- 計量スプーンは入れかたや豆の焙煎度によって分量が異なります。
- 40g を超えて入れないでください。
  故障・コーヒーがあふれる・ミルふたが閉まらないなどの原因になります。
- 豆や粉は、はかりで量るのがおすすめです。
- 計量スプーンの目盛りは目安です。
- カップはあらかじめ熱湯などであたためてください。

豆から抽出する

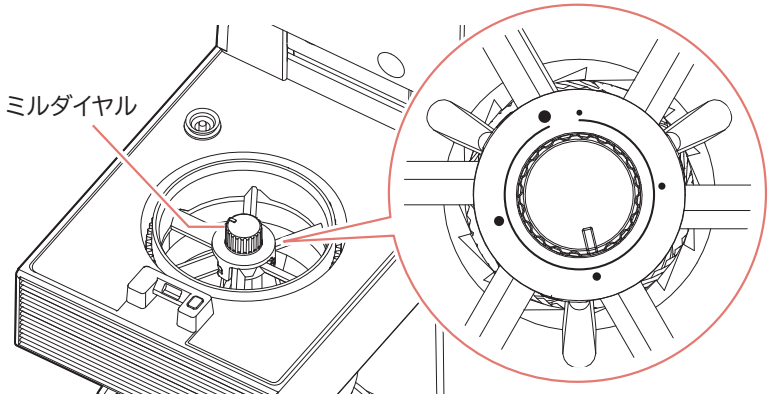
1 「ミルのセットのしかた P18」を参考に、ミルを本体にセットする

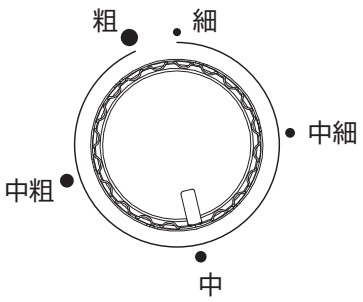
2 ミルふたを開けて、ミルにコーヒー豆を入れる

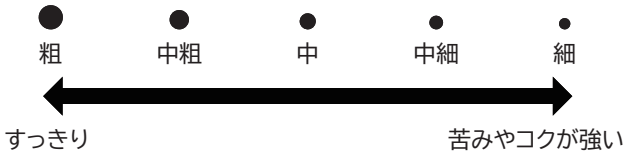
- ミルにコーヒー豆を 40g を超えて入れないでください。
- ミルに入れたコーヒー豆は一度の運転ですべて挽いてしまうため、使用する分だけ入れてください。
- 湿ったコーヒー豆や生豆は入れないでください。故障の原因になります。
- ミルがぬれている場合は、油分や水気を拭き取ってください。コーヒー豆が付着してミルに残る原因になります。
- ミル使用後に本体・ミル・保温板にコーヒー粉が付着する場合があります。使用後は拭き取ってください。



3 ミルダイヤルで豆の挽き具合を設定し、ミルふたを閉める



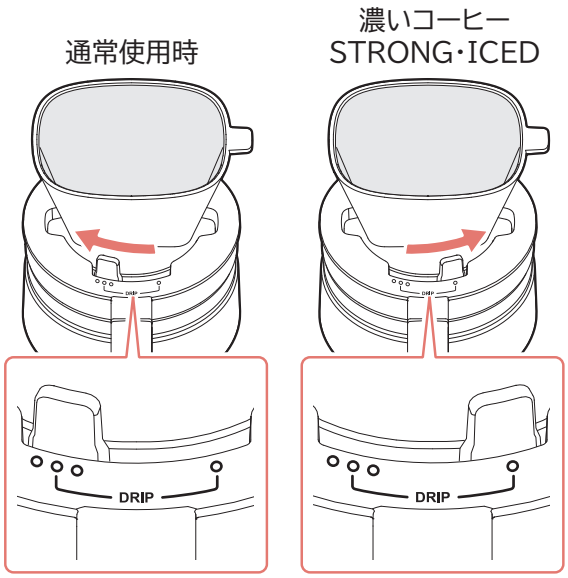




4

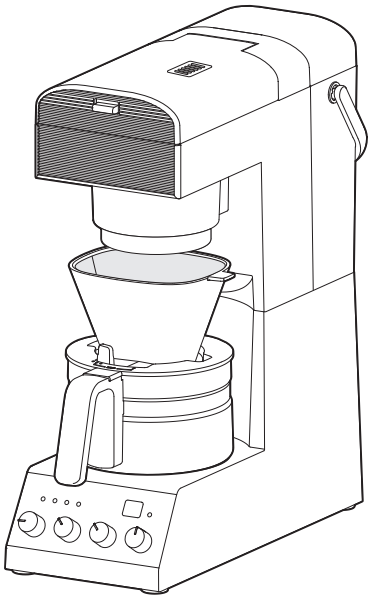
「ガラスサーバーの準備 P20」を参考にガラスサーバーを準備し、流量調節レバーを設定する

・ お好みに合わせてレバーを設定してください。



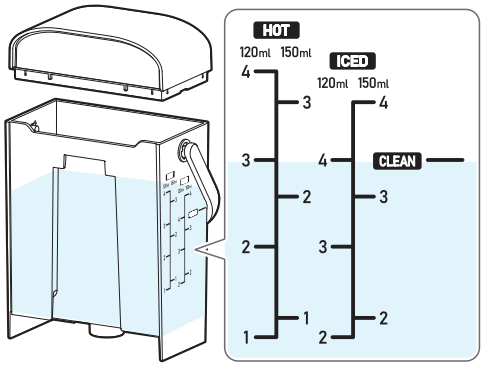
5

4 のガラスサーバーを本体にセットする



6

水タンクに水を入れ、「水タンクの取り付けかた P19」を参考に本体にセットする



- 必ず本体から取り外して水を入れてください。
- 目盛りは目安です。選択した杯数に合わせて自動で本体へ送り出します。
- 「4」より多く水を入れないでください。
- 40℃以上のお湯を入れないでください。
- 水以外のもの（牛乳・コーヒー・アルカリイオン水など）を入れないでください。

7

電源プラグをコンセントに差し込む

- ⏻ ランプが点灯します。何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- 消灯した場合は、スタート／ストップボタンを 1 回押す、もしくは電源コードをコンセントから抜いて再度差し込むと点灯します。

8

抽出コース選択ダイヤルで抽出コースを選択する



RICH	コクと香りが豊かでバランスの良い味
MILD	苦みを抑えたやさしい味
STRONG	深い苦みとコク、キレのある味
ICED	氷を入れても苦みとキレのある味
DECAF	カフェインを控えたコクがある味

9

モード選択ダイヤルで (豆から抽出)に合わせる



: 粉から抽出

: 豆から抽出

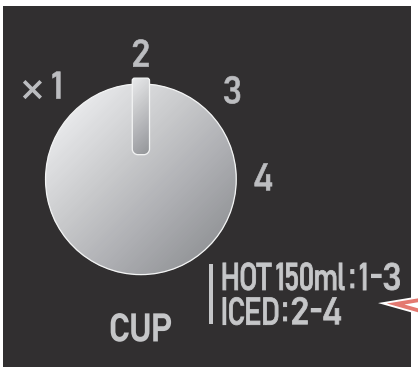
: 豆を挽く

: 内部を洗浄

10

杯数選択ダイヤルで、杯数を選択する

・1 杯・2 杯・3 杯・4 杯から選択してください。



HOT は、ICED 以外の抽出コースを意味しています。

・抽出コースと抽出量によって選択できる杯数が異なります。

抽出コース(BREW)	抽出量(SIZE)	
	120ml	150ml
MILD	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
STRONG	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
RICH	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
ICED	2 ～ 4CUP	
DECAF	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP

ICED は氷を入れることを考慮し、コーヒーの抽出量を少なくしています。

11

抽出量選択ダイヤルで 1 杯あたりの抽出量を選択する

・120ml・150ml から選択してください。

・設定できない抽出量と杯数を選択した場合は、音が鳴ってお知らせします。



START STOP を押して抽出開始

- ランプは何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- スタート／ストップボタンを押すと再び点灯します。
- ランプが消灯している時は、スタート／ストップボタンを押しても抽出開始されません。
- 抽出中は  が点灯します。
- 抽出後は音が鳴り、自動的に保温になります。
- 保温中は  が点灯します。
- 保温開始から 30 分後に自動で保温が切れます。
- 保温をやめるときは、スタート／ストップボタンを押してください。
- 抽出後は保温板に触れないでください。
  やけどの原因になります。

12

動作中のランプのお知らせ

MODE	ミル	抽出	保温
粉から抽出	—	点灯	点灯
豆から抽出	点灯	点灯	点灯
豆を挽く	点灯	—	—

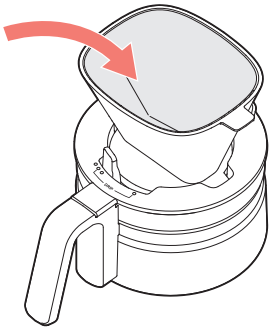
その他のお知らせ

- 豆から抽出時ミルは一度動作した後、再び停止と回転を繰り返しますが異常ではありません。
- 豆の挽き始めは大きな音がします。
- 室温、湿度、コーヒー豆の種類などによって、挽いたコーヒー豆が本体に付着する場合があります。使用後、お手入れしてください。
- ミル途中にミルふたを開けたり、ガラスサーバーを本体から取り除くと音が鳴り動作を停止します。再びミルを動作させるときは、ミルふたを閉め、ガラスサーバーを本体にセットすると動作を再開します。
- 抽出途中でミルふたを開けたり、ガラスサーバーを本体から取り除くと音が鳴り、ランプが点滅して動作を中止します。コーヒー粉を取り除き、最初からやり直してください。
- 抽出コースや杯数・抽出量に応じて、でき上がりまでの時間は異なります。
- 保温時にミルふたを開けたり、ガラスサーバーを本体から取り除くと音が鳴り、ランプが点滅して保温が停止しますが、ミルふたを閉め、ガラスサーバーを本体に戻すと保温を再開します。
- コーヒーを注ぐときは、ガラスサーバーふた以外は取り外してください。
  注いでいる途中でドリッパーや流量調節レバーが外れ、やけど・けがの原因になります。
- ガラスサーバーが空または残りが少なくなったら、スタート／ストップボタンを押して保温を終了し、電源プラグを抜いてください。

粉から抽出する

1 「ミルのセットのしかた P18」を参考に、ミルを本体にセットする

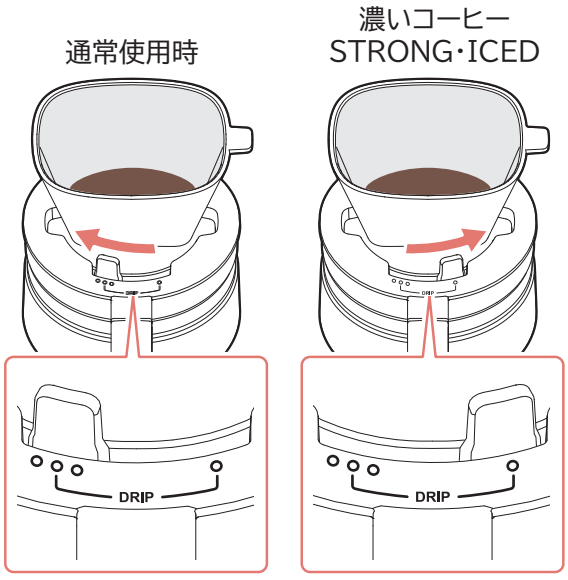
2 「ガラスサーバーの準備 P20」を参考にガラスサーバーを準備し、コーヒー粉を入れる



- コーヒー粉を 40g を超えて入れないでください。
- ミルにコーヒー粉を入れないでください。

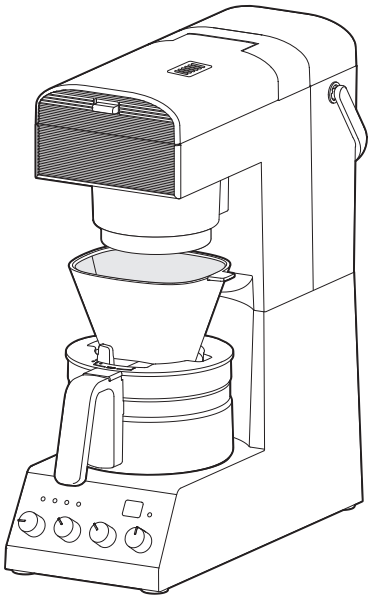
3 **流量調節レバーを設定する**

- お好みに合わせてレバーを設定してください。



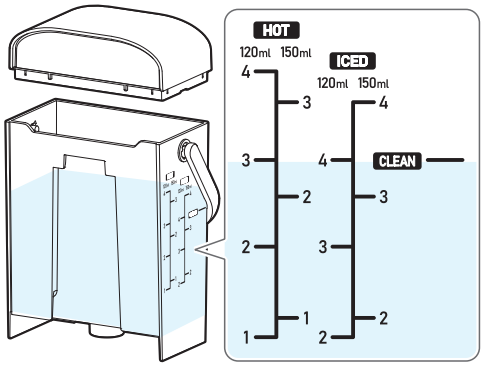
4

3 のガラスサーバーを本体にセットする



5

水タンクに水を入れ、「水タンクの取り付けかた P19」を参考に本体にセットする



- 必ず本体から取り外して水を入れてください。
- 目盛りは目安です。選択した杯数に合わせて自動で本体へ送り出します。
- 「4」より多く水を入れないでください。
- 40℃以上のお湯を入れないでください。
- 水以外のもの（牛乳・コーヒー・アルカリイオン水など）を入れないでください。

6

電源プラグをコンセントに差し込む

- ⏻ ランプが点灯します。何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- 消灯した場合は、スタート／ストップボタンを 1 回押す、もしくは電源コードをコンセントから抜いて再度差し込むと点灯します。

7

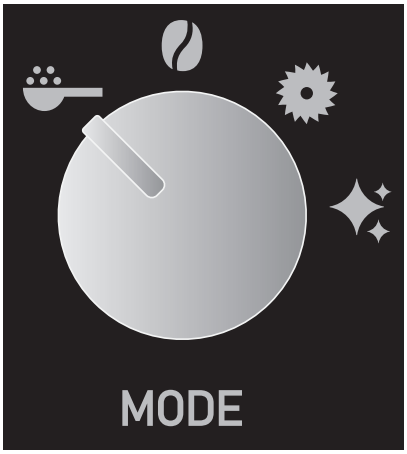
抽出コース選択ダイヤルで抽出コースを選択する



RICH	コクと香りが豊かでバランスの良い味
MILD	苦みを抑えたやさしい味
STRONG	深い苦みとコク、キレのある味
ICED	氷を入れても苦みとキレのある味
DECAF	カフェインを控えたコクがある味

8

モード選択ダイヤルで (粉から抽出)に合わせる



: 粉から抽出

: 豆から抽出

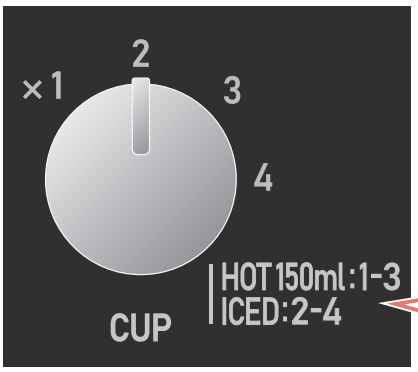
: 豆を挽く

: 内部を洗浄

9

杯数選択ダイヤルで、杯数を選択する

・1 杯・2 杯・3 杯・4 杯から選択してください。



HOT は、ICED 以外の抽出コースを意味しています。

・抽出コースと抽出量によって選択できる杯数が異なります。

抽出コース(BREW)	抽出量(SIZE)	
	120ml	150ml
MILD	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
STRONG	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
RICH	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP
ICED	2 ～ 4CUP	
DECAF	1 ～ 4CUP	1 ～ 3CUP

ICED は氷を入れることを考慮し、コーヒーの抽出量を少なくしています。

10

抽出量選択ダイヤルで 1 杯あたりの抽出量を選択する

・120ml・150ml から選択してください。

・設定できない抽出量と杯数を選択した場合は、音が鳴ってお知らせします。



START STOP を押して抽出開始

- ランプは何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- スタート／ストップボタンを押すと再び点灯します。
- ランプが消灯している時は、スタート／ストップボタンを押しても抽出開始されません。
- 抽出中は  が点灯します。
- 抽出後は音が鳴り、自動的に保温になります。
- 保温中は  が点灯します。
- 保温開始から 30 分後に自動で保温が切れます。
- 保温をやめるときは、スタート／ストップボタンを押してください。
- 抽出後は保温板に触れないでください。
  やけどの原因になります。

11

動作中のランプのお知らせ

MODE	ミル	抽出	保温
粉から抽出	—	点灯	点灯
豆から抽出	点灯	点灯	点灯
豆を挽く	点灯	—	—

その他のお知らせ

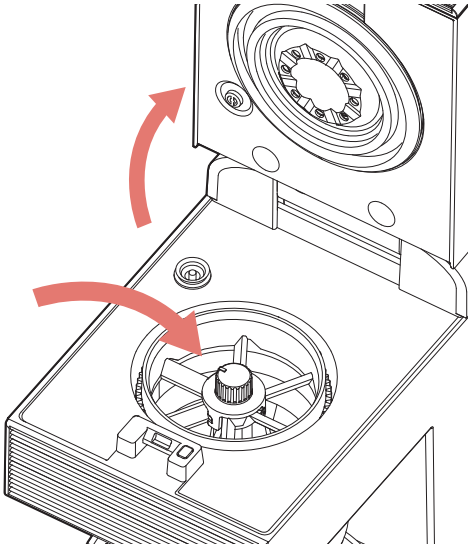
- 抽出途中でミルふたを開けたり、ガラスサーバーを本体から取り除くと音が鳴り、ランプが点滅して動作を中止します。コーヒー粉を取り除き、最初からやり直してください。
- 抽出コースや杯数・抽出量に応じて、でき上がりまでの時間は異なります。
- 保温時にミルふたを開けたり、ガラスサーバーを本体から取り除くと音が鳴り、ランプが点滅して保温が停止しますが、ミルふたを閉め、ガラスサーバーを本体に戻すと保温を再開します。
- コーヒーを注ぐときは、ガラスサーバーふた以外は取り外してください。
  注いでいる途中でドリッパーや流量調節レバーが外れ、やけど・けがの原因になります。
- ガラスサーバーが空または残りが少なくなったら、スタート／ストップボタンを押して保温を終了し、電源プラグを抜いてください。

豆を挽く(ミルモード)

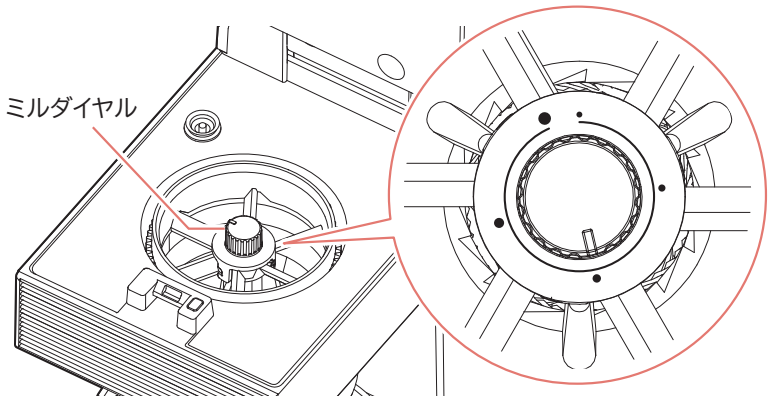
1 「ミルのセットのしかた P18」を参考に、ミルを本体にセットする

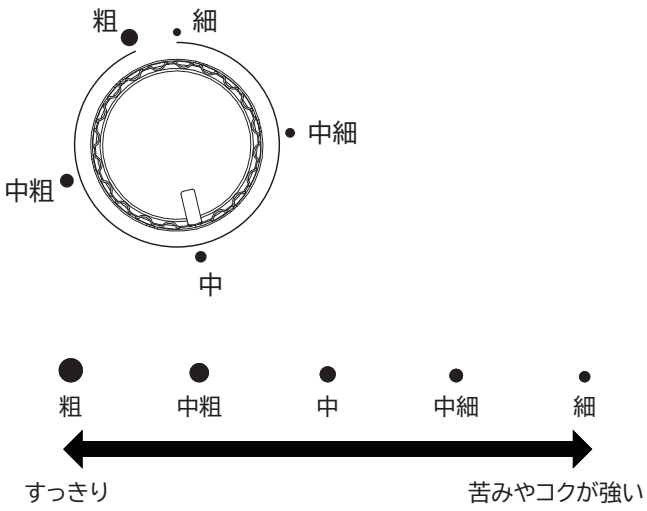
2 ミルふたを開けて、ミルにコーヒー豆を入れる

- ミルにコーヒー豆を 40g を超えて入れないでください。
- ミルに入れたコーヒー豆は一度の運転ですべて挽いてしまうため、使用する分だけ入れてください。



3 ミルダイヤルで豆の挽き具合を設定し、ミルふたを閉める



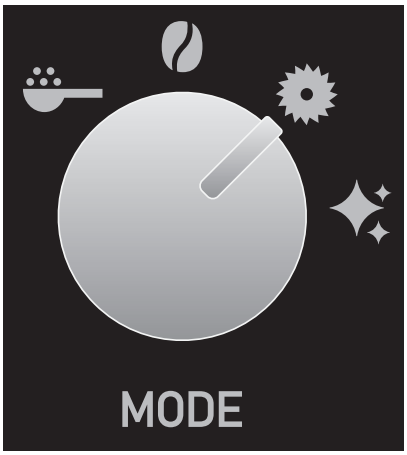


4 「ガラスサーバーの準備 P20」を参考にガラスサーバーを準備し、本体にセットする

5 電源プラグをコンセントに差し込む

- ランプが点灯します。何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- 消灯した場合は、スタート／ストップボタンを 1 回押す、もしくは電源コードをコンセントから抜いて再度差し込むと点灯します。

6 モード選択ダイヤルで、(豆を挽く)に合わせる



7 START STOP を押してミルを開始

- ランプは何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- スタート／ストップボタンを押すと再び点灯します。

- ランプが消灯している時は、スタート／ストップボタンを押してもミルは開始されません。
- ミル中は、ランプが点灯します。
- ミルのみ動作させるときは最大 80 秒動作します。途中でミルを終了させたい場合はスタート／ストップボタンを押してください。

動作中のランプのお知らせ

MODE	ミル	抽出	保温
粉から抽出	—	 点灯	 点灯
豆から抽出	 点灯	 点灯	 点灯
豆を挽く	 点灯	—	—

- 豆から抽出時ミルは一度動作した後、再び停止と回転を繰り返しますが異常ではありません。
- 豆の挽き始めは大きな音がします。
- 室温、湿度、コーヒー豆の種類などによって、挽いたコーヒー豆が本体に付着する場合があります。使用後、お手入れしてください。
- ミル途中にミルふたを開けると音が鳴り動作を停止します。再びミルを動作させるときは、ミルふたを閉め、動作を再開します。豆を挽くモードでは、ミル動作中にガラスサーバーを本体から取り除いても動作します。

お手入れ

お手入れについて

初めて使用するときや長期間使用しなかったときは、必ずお手入れ(**部品・付属品の洗浄、本体のクリーニング**)をしてください。

使用後は、毎回お手入れをしてください。

警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

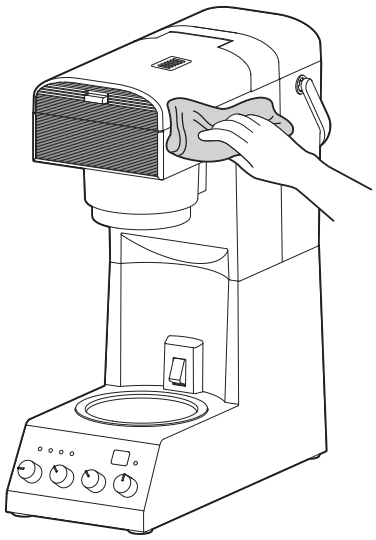
- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 洗う際は台所用中性洗剤を使用し、本体・電源コード・電源プラグに水がかからないよう十分に注意してください。
- 衝撃を与えないでください。
- 熱湯は使用しないでください。

- 食器洗い機・食器洗い乾燥機・熱湯は使用しないでください。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし、ナイロンたわしなどは使用しないでください。
- 洗剤を使用した場合は、洗剤分が残らないようにしてください。

■ 本体

よく絞ったふきんで拭く

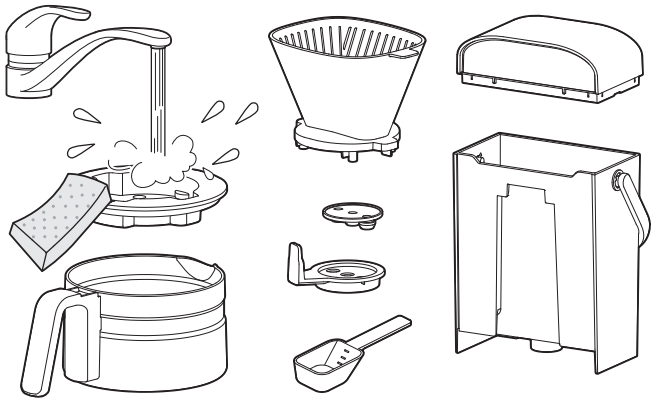
- 台所用中性洗剤を薄めたお湯に布を浸し、かたく絞って拭いてください。
- 乾いた布で水分・洗剤分を拭き取り、十分に乾燥させてください。



■ 水タンク・ドリッパー・流量調節レバー・パッキン・ガラスサーバーふた・ガラスサーバー・計量スプーン

台所用中性洗剤を使って洗い、水で流す

- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすいでください。
- 乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。



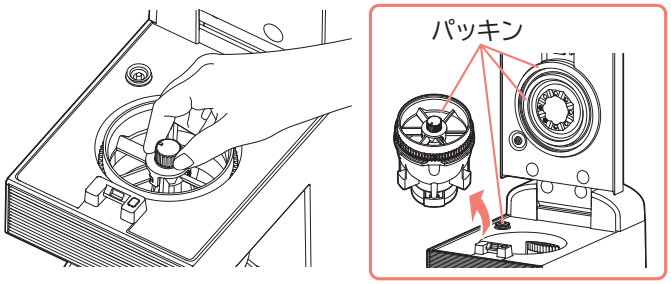
※水タンクのパッキンは
取り外さないでください。

- **食器洗い機・食器洗い乾燥機・熱湯は使用しないでください。**
- **洗剤分が残らないようにしてください。**
  樹脂などの劣化・変色の原因になります。
- **水タンクのパッキンは外さないでください。**
  水もれの原因になります。

■ ミル

本体から外し、お手入れブラシで粉や破片を取り除く

- ミルダイヤルの底から持ち上げるようにして取り出してください。
- お手入れは必ず付属のお手入れブラシを使用してください。
- 水で洗うときはミルの上から水を流してください。(ミルを水につけないでください。)異音などの故障の原因になります。
- ミルは分解しないでください。
- パッキンは取り外さないでください。


パッキン

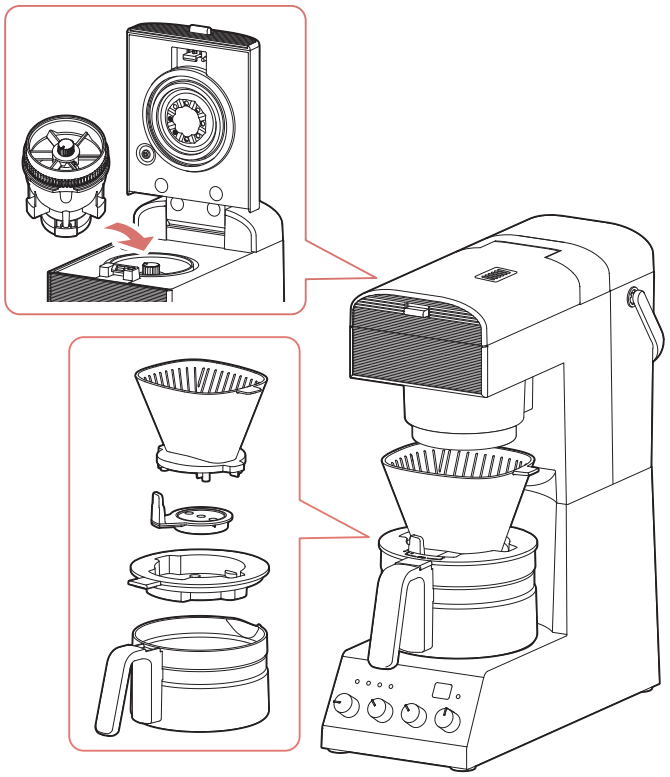
本体のクリーニング

初めて使用するときや長期間使用しなかったときは、必ず次のように各部のお手入れをしてください。

1 **水タンク・ドリッパー・流量調節レバー・パッキン・ガラスサーバーふた・ガラスサーバーを洗う（→お手入れについて P39）**

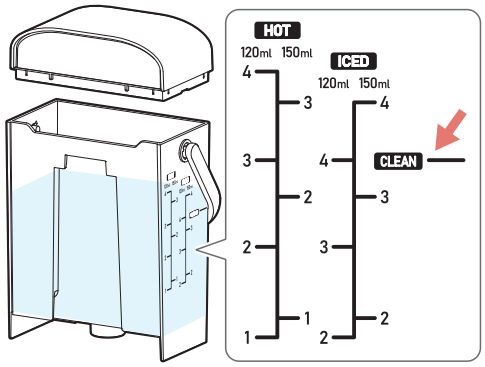
2 **ミル・ドリッパー・流量調節レバー・パッキン・ガラスサーバーふた・ガラスサーバーを本体にセットする**

- 紙フィルターは使わないでください。



3

水タンクに水(水位線 CLEAN)を入れて、本体にセットする



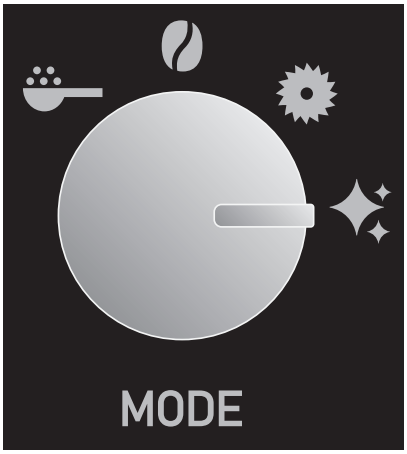
4

電源プラグをコンセントに差し込み、ランプが点灯することを確認する

- 何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。

5

モード選択ダイヤルを (内部を洗浄)に合わせる



6

START STOP を押してクリーニング開始

- ランプが点灯します。何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- スタート／ストップボタンを押すと再び点灯します。
- ランプが消灯している時は、スタート／ストップボタンを押してもクリーニングは開始されません。

- クリーニング中は  が点灯します。

7 ブザー音が鳴り、 ランプが消灯したら、ガラスサーバーを取り外してお湯を捨てる

8 手順 2～7 を 1～2 回繰り返す

クエン酸洗浄

いつもより抽出時間が長くかかるとき・水容器の湯あかが目立つとき、クエン酸を使って本体内を洗浄します。

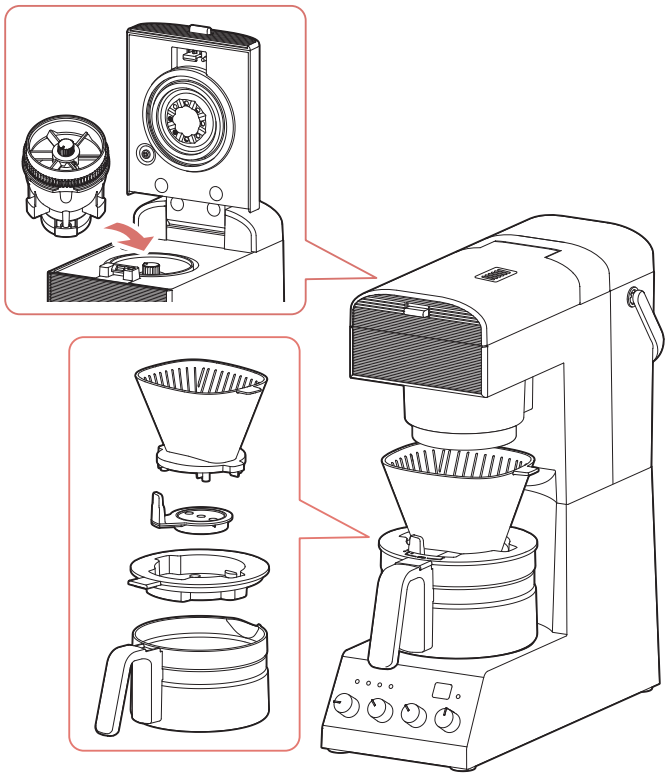
1

水タンク・ドリッパー・流量調節レバー・パッキン・ガラスサーバーふた・ガラスサーバーを洗う（→お手入れについて P39）

2

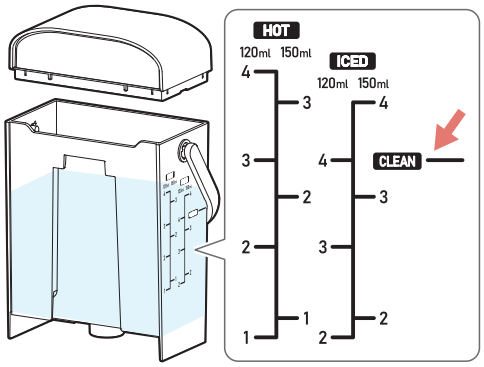
ミル・ドリッパー・流量調節レバー・パッキン・ガラスサーバーふた・ガラスサーバーを本体にセットする

- 紙フィルターは使わないでください。



3

水タンクに水(水位線 CLEAN)とクエン酸約 5g を入れてよく溶かして、本体にセットする



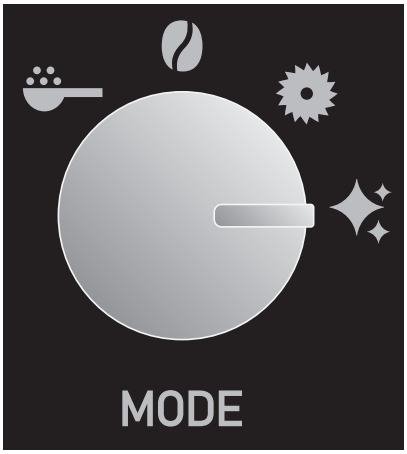
4

電源プラグをコンセントに差し込み、ランプが点灯することを確認する

- 何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。

5

モード選択ダイヤルを (内部を洗浄)に合わせる



6

START STOP を押してクリーニング開始

- ランプが点灯します。何も操作をしないと、約 5 分で消灯します。
- スタート／ストップボタンを押すと再び点灯します。
- ランプが消灯している時は、スタート／ストップボタンを押してもクリーニングは開始されません。

- クリーニング中は  が点灯します。

7 ブザー音が鳴り、 ランプが消灯したら、ガラスサーバーを取り外してお湯を捨てる

8 クエン酸水のにおい取りのため、
クエン酸を入れずに、手順 2～7 を 1～2 回繰り返す

こまったときは

故障かな？と思ったら

■コーヒーメーカーに関するよくあるお問い合わせ
https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/categori.php?ID=29

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

－動作しない

→電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→ガラスサーバーが、ガラスサーバー検出スイッチを正しく押せていない

保温板の上にガラスサーバーを正しくセットしてください。

→ミルふたが正しく閉じられていない

ミルふたを正しく閉じてください。

－コーヒーが抽出されない

→水タンクに水が入っていない

水タンクに水が入っているか確認してください。

水が入っていない・足りない場合は入れてください。

→ガラスサーバーを途中で本体から取り出した

→ミルふたを途中で開けた

ミルの中に豆が残っているときは、START STOP を押してください。

ミルの中に豆が残っていないときは、モード選択ダイヤルを (粉から)を選択し、START STOP を押してください。

－コーヒーがあふれる

→コーヒー粉を入れすぎている

40g 以下にしてください。

→コーヒー豆を入れすぎている

40g 以下にしてください。

→コーヒー粉から抽出するとき、コーヒーの粉をミルに入れている

ミルからコーヒー粉を取り除いてください。

→ドリッパーがガラスサーバーふたに正しくセットされていない

ガラスサーバーふたを正しくセットしてください。

→パッキンが流量調節レバーに正しくセットされていない

パッキンを正しくセットしてください。

→ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっている

ミルのお手入れをしてください。

－コーヒー豆がミルに残る

→コーヒー豆を入れすぎている

40g 以下にしてください。

→湿った豆を入れた

→ミル内に水分が付いていた

豆やミルに水分が付着していると、ミルの内壁に豆が張り付き、最後まで挽けないことがあります。

故障ではありません。

内部の豆を取り出し、本体を乾燥させてください。

－コーヒー粉がドリッパーからあふれる

→コーヒー豆を入れすぎている

使用を中止し、ドリッパーのコーヒー粉を 40g 以下に減らしてから、モード選択ダイヤルを (粉から抽出)を選択し、

を押してください。

→正しいフィルターを使用していない

「1×2」または「102」のフィルターを使用してください。

－挽いたコーヒー粉がドリッパーにたまらない

→ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっている

ミルのお手入れをしてください。

－ミルが本体に取り付けられない

→本体の凹み形状(合計 3 か所)にミルの凸形状(合計 3 か所)が合っていない

正しく取り付けてください。

－保温温度が低い

→ガラスサーバーが保温板の上に正しくセットされていない

ガラスサーバーを保温板の上に正しくセットしてください。

→保温開始から 30 分が経過した

安全のため自動的に保温が切れます。

－抽出に時間がかかる

→本体内の給水経路などに湯あかが付着している

クエン酸洗浄をしてください。(→クエン酸洗浄 P46)

－ミルランプが点滅する

→ミルの途中でガラスサーバーを本体から取り出した

ガラスサーバーを本体にセットすると動作を再開します。

－保温ランプが点滅する

→保温途中で　ガラスサーバーを本体から取り出した

ガラスサーバーを本体にセットすると保温を再開します。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコール P59(電話をかける)へお問い合わせください。



・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ お問い合わせ P59

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがしたりする
- その他異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはアイリスコール P59（ 電話をかける）に点検をご依頼ください。

エラー表示

ミルランプが点滅 	・**ミル途中でガラスサーバーを本体から取り出した** →ガラスサーバーを本体にセットすると動作を再開します。
ミルランプと保温ランプが点滅 	・**ミル途中でミルふたを開けた** →ミルふたをしめると動作を再開します。
抽出ランプとクリーニングランプが点滅 	・**抽出途中でガラスサーバーを本体から取り出した** →抽出を中止しますので、最初から抽出操作をしてください。
ミルランプと抽出ランプが点滅 	・**抽出途中でミルふたを開けた** →抽出を中止しますので、最初から抽出操作をしてください。
抽出ランプとクリーニングランプが点滅 	・**クリーニング途中でガラスサーバーを本体から取り出した** →クリーニングを中止しますので、最初からクリーニング操作をしてください。
ミルランプと抽出ランプが点滅 	・**クリーニング途中でミルふたを開けた** →クリーニングを中止しますので、最初からクリーニング操作をしてください。

保温ランプが点滅 	・**保温途中でガラスサーバーを本体から取り出した** →ガラスサーバーを本体にセットすると保温を再開します。
ミルランプと保温ランプが点滅 	・**保温途中でミルふたをあけた** →ミルふたをしめると保温を再開します。
ミルランプ・抽出ランプ・保温ランプ・クリーニングランプが点滅 	・**水タンクの水が不足している** →抽出を中止しますので、最初から抽出操作をしてください。

その他の情報

廃棄について

・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

電源	AC 100V、50／60Hz
定格消費電力	800W
最大使用水量	620ml
外形寸法	幅 131×奥行 297×高さ 366mm （ハンドル、水タンクハンドルを除く）
製品質量	約 3.6kg
電源コード長さ	約 1.0m
付属品	ペーパーフィルター、計量スプーン、お手入れブラシ

コーヒーミル

電源	AC 100V、50／60Hz
定格消費電力	70W
定格容量	40g
定格時間	80 秒

※製品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

－保証期間

保証期間は、保証書（かんたん操作ガイド）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは保証規定 P58 を参照ください。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または**修理専用コール P59**（ 電話をかける）にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または**アイリスコール P59**（ 電話をかける）にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。

2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。

3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。

4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコール P59
(電話をかける)にお問い合わせください。

5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
   ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
   ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
   ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
   ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
   ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
   ⑥ 保証書の提示がない場合
   ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール：0120-311-564（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール：0800-170-7070（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

お客様サポートはこちら

https://www.irisohyama.co.jp/support/

専用パーツはこちら

https://www.irisplaza.co.jp/index.php?KB=KAISO&CID=5457

製品の最新情報はこちら

https://www.irisohyama.co.jp/